

## 令和元年度 北海道小学校長会地区活性化支援事業 【実践事例レポート】

- 1 報告地区 : 渡島
- 2 事例報告学校名 : 北斗市立石別小学校
- 3 報告者 : 校長 石山 史
- 4 キーワード : 地域と共に育む「生き生きと学び、心を伝え合う子」

### 1 はじめに

石別小学校は函館湾に沿って北斗市中心部より西におよそ13kmの津軽海峡に面した海岸沿いに位置している。校区内には、明治29年に創立された灯台の聖母トラピスト修道院があり、夕方の鐘の音が美しい風景とともに、落ち着きを与えてくれる。石別小学校は地域のキーステーションとしての役割を担っており、地域の方々の温かい見守りが子どもたちの安心・安全の支えとなっている。本校は、児童数12名、複式3学級の小規模校である。子どもたちは落ち着いた学校生活を送っているが、多様な価値観に触れたり、自分の思いを普段とは異なる環境の中でも表現できる力を身に付けていくことが必要である。



学校教育目標である「考える子(知)」「思いやりのある子(徳)」「たくましい子(体)」を具現化するため、グランドデザインを教職員・地域・保護者と共有し、子どもたちの成長を積極的に発信する取組を進めている。子どもたちが、社会や世界に向き合い、関わり合い、自分の人生を切り拓いていくために必要な資質・能力を育むため、地域とともに特色ある教育活動を推進していきたいと考える。

### 2 重点教育目標「生き生きと学び、心を伝え合う子」

令和元年度は、子どもたちが「伝え合う力」の基礎となる確かな学力を身に付け、見通しをもって主体的に学ぶための授業改善を行っている。また、個別指導計画をもとに子ども一人一人の課題を全教職員で共通理解し、学習面・生活面ともに一貫した指導を行っている。特に学習については、一人一人の習熟度に応じた課題を設定し繰り返し指導にあたることで、児童が達成感を持ち次の課題にも積極的に取り組む姿が見られるようになってきている。地域と連携した学習や行事を、学校で身に付けた力を試す場ととらえ、積極的にあいさつをしたり、自分からコミュニケーションを図っていくことや、相手に分かりやすく自分の思いを伝える取組を進めている。近隣小学校との交流を積極的に進め、多様な考えにふれる機会を増やしている。様々な交流学习や地域連携事業を子どもたちに必要な資質・能力の育成と結びつけ、学びに向かう力を培っていくのが重点である。以下、地域と連携して行った特色ある教育活動を紹介する。



近隣校との英語交流

### 3 豊かな自然を身近に感じる体験学習の充実

石別地区は海に面しており、夏には海水浴を楽しむことができる。校庭の樹木には野鳥が訪れる。校区を流れる大当別川には毎年さけが遡上する。子どもたちが、普段何気なく目にしていることが、とても価値あるふるさとの魅力だと気付いてほしいという思いから、ふるさと学習の構想をたてた。自分たちが暮らす地域にある豊かな自然の恵みや漁業に携わる人たちの努力を知ることが、ふるさとへの誇りにつながると考え、様々な体験学習を行っている。



稚魚を放流する児童

最初に紹介するのは、さけの飼育・観察である。地域の方や関係機関の協力のもと、さけの発眼卵を預かり、孵化から観察を続け、春に稚魚を放流した。また、夏には海浜学習で、海辺の生き物を観察し、ゲストティーチャーから育てる漁業に携わる方たちの努力や苦労についてお話を伺うことができた。さらに、秋には、地産地消に関する食育でさけ料理に挑戦し、生命のつながりについて考えることができた。地域の豊かな自然を体験的に学ぶことを教育課程に位置付け、生活科・総合的な学習はもとより、理科、社会科、国語科、特別の教科 道徳等と関連づけることで、教科横断的なカリキュラム・マネジメントを行っている。



川に戻ったさけの稚魚



海浜学習



さけ料理に挑戦！

#### 4 地域連携事業で育てたい力

本校では、地域連絡協議会（CS）を中心に、地域と連携した様々な教育活動を行っている。中でも運動会と文化祭は、保育園・小学校・中学校・町内会の四者合同で行い、子どもたちは地域が一つになる絆を強く感じることができる。地域連絡協議会は発足3年目を迎える。以前から行われてきた子どもの安全に関する見守り活動は継続しながら、異世代間交流を中心に放課後の「ゆうがく広場」を設置、地域の方が子どもたちとふれあう機会を増やしてきた。児童数は減少しているが、地域の方たちは「子どもたちのためなら」と、学校の教育活動を応援してく



ゆうがく広場で七夕飾り



地域に元気を！  
お祭りワッショイ！

れている。石別の子どもたちは地域の目に見守られ、安心して生活することができている。さらに、何かをしてもらったり、援助してもらったりするだけでなく、自分たちが地域の一員としてできることを考え、実行していく力を伸ばしていきたいと考えた。そこで、様々な交流の機会を身に付けてきた力を試す機会ととらえ、明確なねらいをもつ教育活動と位置付けた。変化の激しい社会で、自分を見失うことなく自立し他者と協働して新たな価値を見いだしていく資質・能力を育むために地域との連携は必要不可欠であると自信を持って言える活動をさらに工夫していきたい。



地域みんなでよい年を  
石別ふれあい餅つき祭



私たちにできること！地域防災訓練



百人一首教えてね

